

「第3回山都町清和義務教育学校設立準備委員会」での主な意見と対応

	主な意見	対応
1	中学生が議会で登下校の道に街灯がなくて、暗くて怖いからあの街灯の設置をしてほしいという誓願を出した。山都町は街灯をつけて欲しいとか、そういう子供の意見は拾ってくれるのだろうか？	教育委員会では「山都町通学路安全推進会議」を作っており、警察や道路管理者、町の関係者、それに保護者の代表を交え協議の上必要で可能な場所については対応し、できないところは、管理者にお願いする形で対応している。
2	コミュニケーション能力や社会性を伸ばせる教育を受けさせたい、もしくは受けたいという点が多かったのが印象的だった。それは、生徒も保護者も自己表現やコミュニケーションの機会が乏しいと感じているからではないか。地域の方と学校の生徒・児童と一緒に交流をし、コミュニケーション能力を高めていくことができるのが、新しい学校が目指す一つの姿なのではないかと思った。町外の人々が通うとすればどんな学校になってほしいかという意見があれば面白い。町内だけでなく、外から選んできてもらえるような人を増やしていくという観点も必要だ。町外の人に山都町の学校を選んでももらえるようなモデルケースにする視点も大事だと思う。	まずは山都町内、清和地区に居住する人たちにとって魅力的な学校を作ることを第一に考える。設立途中の議論や開校後の活動等を広く全国に発信し、新しい義務教育学校の魅力を多くの人に知ってもらうよう努めたい。
3	校長も一般教職員も入れ替わりがある。それでこのような教育を一体誰がその信念を持って学校現場でずっと貫き通してくれるのか。他の学校から来た先生がどうやって、その学校の今までとは違う授業体制に馴染むのか。	新しい教育体制を維持発展させていくために、協議の結果を反映した基本構想等にまとめ、システムとしてのカリキュラム等に反映し、それをもとに今後の活動が行われていく。公式の文書やカリキュラムに記述することで、ブレない方針となる。また、今後の教育活動を監視する意味でもコミュニティ・スクール等の地域住民が学校運営に参加する体制づくりを行いたい。
4	大人の学び直し場として学校が使えるようになることはとてもいいと思う。日本人は	配置できるよう調整したい。 建物に係る設計業者の選定に際し、アイデ

	<p>世界の中でも大人が勉強しない国だということを知った。大人が学ばないのに、子供に対して勉強をさせている。これからどういう時代になっていくか分からない中で、子供だけではなく、大人もいろんな学び直しをして、学び続けるっていう姿勢が大事だ。せっかく大人の方々が学ぶ場になるのであれば、そういった大人が一生学んでいる姿が子供にちゃんと見えるような場所にも配置したらいいのではないかな。</p>	<p>アを求めたい。</p>
5	<p>今後さらに子供数が減ってくると、空き教室が結局何も使われない空間になってしまうこともあるので、フレキシブルにスペースがうまく使えるような設計になれば良いと思う。</p>	<p>(上述に同じ。)</p>
6	<p>大人も子供もともに学ぶ施設となれば、学校を運営していく上で、子どもたちの安全性を保って、すみ分けをしていくことはとても大事なことになる。そういったことを考慮した教室の配置が必要になるのかなと思う。さらにスペース的には余裕があるということなので、学校職員のアンケートから出てきて、例えば相談室や特別支援の教室が必要だと思う。</p>	<p>(上述に同じ。)</p>
7	<p>構造上、バリアフリーなどにも力を注ぐということだが、階段は車イスでも可能な階段なのか？お年寄りでも車イスを利用する方が学校に来ることもあるのでそういう配慮もしてもらえるといい。</p>	<p>(上述に同じ。)</p>
8	<p>義務教育学校では小学校・中学校両方の免許を持つ教員が必要だということだが、果たしてそういう先生が何名おられるのか。</p>	<p>当面は、小学校・中学校のどちらか一方の免許を持っていれば配置できる。また開校にあたっては、熊本県教育委員会にも働きかけ、適切な経験やスキルを持つ教員を優先して配置してもらうよう努める。</p>
9	<p>「山都学」やリカレント教育では、外部や地域から講師を雇うとして、候補者などはどのようにして選任されるのか。</p>	<p>次年度以降、カリキュラムや学習内容を検討する際に協議する。また、開校後は学校運営委員会等でも協議することになる。</p>

10	<p>各候補地とも条件が付く部分がある。そこがはっきりしないとなかなか決められない。清和小学校は山を削れば作れるということなので、候補に入ると思う。清和グラウンドは清和小学校の校舎の2階からよく見えるが、冬場はとても寒々しくて、こんなところで子どもたちは生活させられないなとは思う。一方で、山を削ればとてもいい場所になる。タラレバの話でしかできない。</p>	<p>地域の拠点施設となるようなイメージも踏まえ、適当だと考える場所を選定したい。</p>
11	<p>現清和小学校には現在学童があるので、現小学校であればそのまま学童が使える。あまり中心地に何でも集めてきても、周辺がさびれる。学校を移動すると学童も移動しなければならないのであれば、学童の移動費もかかる。</p>	<p>(上述に同じ。)</p>
12	<p>現清和小学校が新設学校になるのであれば、蘇陽もいっしょにして欲しい。車で10分くらいなので、蘇陽南もいっしょにしてもらい、蘇陽も入れて欲しい。</p>	<p>現時点において、蘇陽地区を含める想定はありません。蘇陽南小校区関係者皆様の意見であるならば、調整不可能ではないと思います。</p>
13	<p>目指す学校像の④の「予測困難な時代をも生き抜く力を蓄える学校」のところで、その前に「常に夢と誇りを持ち」と入れたほうがいいのではないか。「夢」というのは熊本県教育委員会のスローガン、「誇り」は山都町総合計画の柱。ここに「夢」と「誇り」というキーワードを入れることで、こういう子どもたちを育てるということが明らかになっていくと思う。</p>	<p>指摘のとおり反映したい。</p>